

日本のベンチャーエコシステムの現状 と業界における今後の展望

2019年12月5日

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
会長 赤浦 徹

自己紹介ならびに インキュベイトファンドについて

赤浦 徹

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長

インキュベイトファンド 代表パートナー

- 1999年にシードステージ投資に特化したVCファンド、インキュベイトキャピタルパートナーズ設立。2010年インキュベイトファンドを設立し現在に至る。累計総額440億円強のVCファンドを設立し、一貫して起業・設立時からの出資による運用を行う。
- 2003年独立行政法人情報処理推進機構参与就任（2003～2008年）。2013年7月一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会理事。2015年7月同協会常務理事、2017年7月同協会副会長、2019年7月同協会会長就任。
- IPO実績は16社。サイボウズ、エスプール、CARTA HOLDINGS、メディアドウ、セレス、Aiming、ダブルスタンダード、Sansan等。
- 経済産業省 特定研究成果活用支援事業計画認定 外部審査委員、内閣官房 ベンチャーチャレンジ2020アドバイザリーボード、経済産業省 J-Startup推薦委員、中小企業基盤整備機構 JVAキャピタリスト奨励賞審査員、等を務める。



“FIRST ROUND, LEAD POSITION, BUILD an INDUSTRY”



インキュベイトファンドは、創業期のネットビジネスに競争力を有した独立系ベンチャーキャピタルです。シードスタートアップへの投資において国内最大規模の実績を有し、累計約440億円のファンドで400社以上のポートフォリオを構築しています。

起業家にとって「最初かつ最大の応援団」たるべく、GP個人の独立性と長期的視座を保ち、積極的な経営参画と多面的な支援を信条として投資支援に努めます。

赤浦 徹
General Partner



本間 真彦
General Partner



和田 圭祐
General Partner



村田 祐介
General Partner





(株)パネイル

新電力独立系最大手、東電等と電力卸プラットフォームを構築中。



Sansan(株)

名刺管理を軸にSFA/CRM SaaSを展開。国内SaaS最大手。



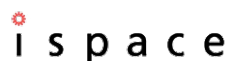
(株)Origami

銀聯や信金中央金庫と連携し国内モバイル決済事業者で最も先行。



ウェルスナビ(株)

国内ロボットアドバイザー最大手。2019年9月現在AUM1,700億円。



(株)ispace

NASAより月面への物資輸送事業を受託。月面資源開発事業を展開予定。



(株)bitFlyer Holdings

暗号通貨取引所国内最大手事業者。全銀協とBlockchain PFで技術提携。



(株)ピクシーダストテクノロジーズ
波動コンピューティング技術で世界最先端。五感を拡張する技術を開発。



(株)メドレー

遠隔診療プラットフォーム事業者で国内最大手。医療機関SaaSも展開。



(株)オープンエイト

モバイル動画アドネットワーク事業者で最大手。映像制作SaaSも展開。



ベルフェイス(株)

インサイドセールスSaaSを展開。国内SaaS事業者の中で最速成長中。



Wovn Technologies(株)

ウェブサイト多言語化SaaSを展開。インバウンド需要を受けて急成長中。



(株)キャスター

クラウドベースのオンラインアシスタント事業者で国内最大手。



(株)AIメディカルサービス

国内トップ内視鏡医チームが結集し内視鏡AIを開発中。



SATORI(株)

マーケティングオートメーションSaaSを展開。国内MA認知度No.1。



TYFFON Inc.

VR/ARベースのウォークスルー型次世代アトラクション施設を運営。

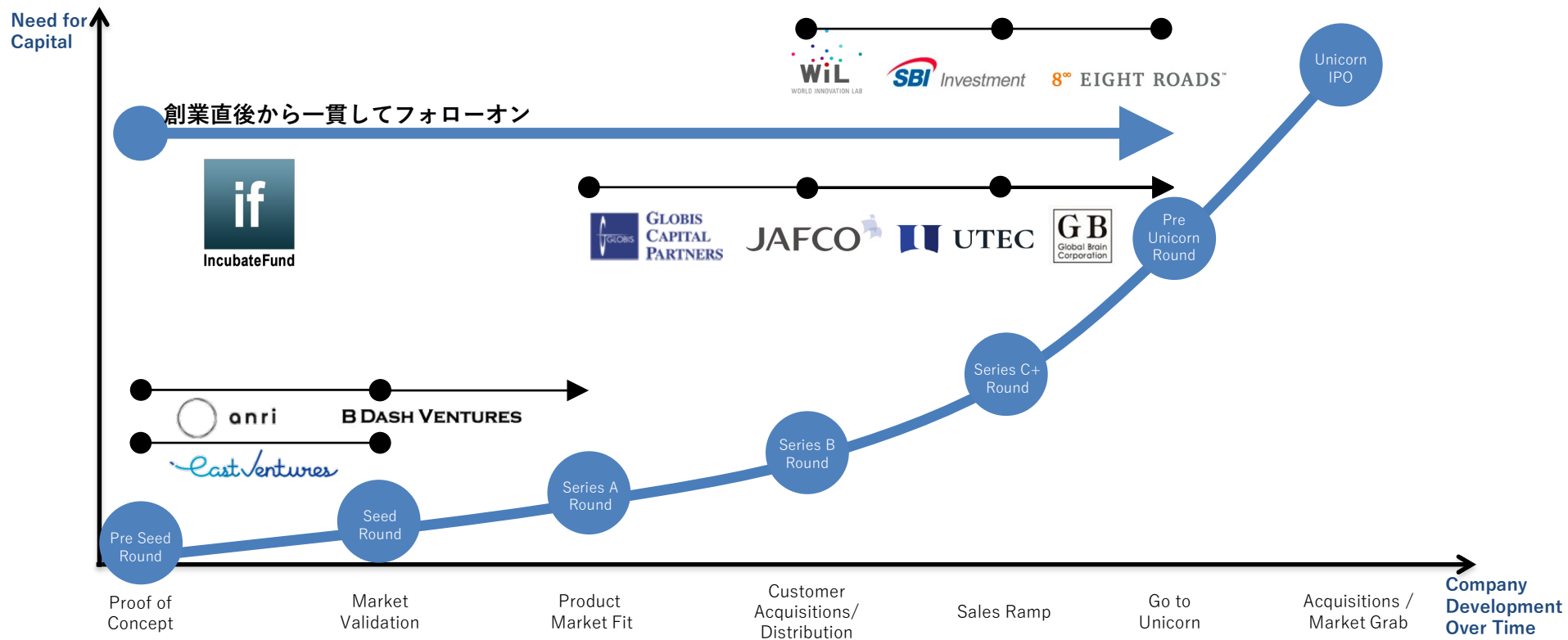


ClipLine(株)

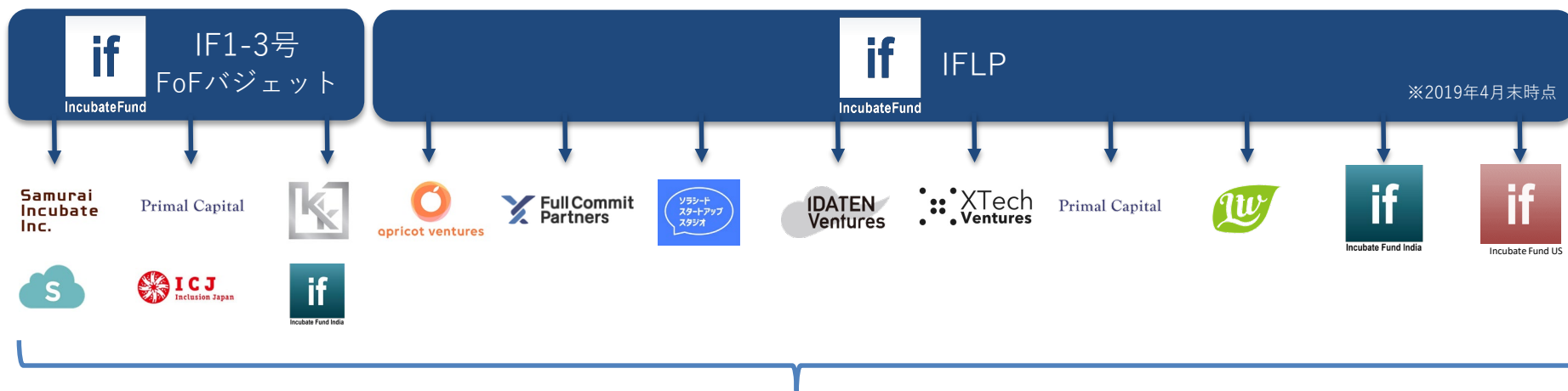
多店舗・多業態展開型企業向けサービスマネジメントSaaSを展開。

インキュベイトファンド：ファンドのポジション

創業者と共に、コンセプト段階のゼロから大きく資金提供を行い、事業戦略、プロダクト、チームを組成し、創業直後のシードスタートアップをユニコーンIPOまで一貫してフォローオンします。



2007年以降12年間に渡り独立した個人のGPを創出すべくFoFプログラムを継続しています。これまでに19人のGPを輩出、合計25本のファンドに出資して200社以上のシードスタートアップを創出しています。各GPによる独自のソーシングルートをも有机的に接続し、全体のクオリティを向上させています。



シードスタートアップへの投資&徹底支援
↓
2018年12月末現在235社、今後年間30社前後増加

いずれも創業期のシードラウンドから投資実行し、IPOまで長期間に渡り支援をしています。IPO後も保有継続し、更なる成長へコミットしています。



IPO(2000)
SaaS



IPO(2002)
Ad-Tech



IPO(2004)
Car Export



IPO(2004)
Media



IPO(2005)
Ad-Tech



IPO(2006)
HR



IPO(2007)
Commerce



IPO(2011)
Mobile Media



IPO(2011)
Ad-Tech



IPO(2013)
E-Book



IPO(2014)
Media



IPO(2014)
Gaming



IPO(2014)
Media & Ad-Tech



IPO(2014)
Mobile Media



IPO(2015)
Crowd Sourcing



IPO(2015)
Gaming



IPO(2015)
Big Data



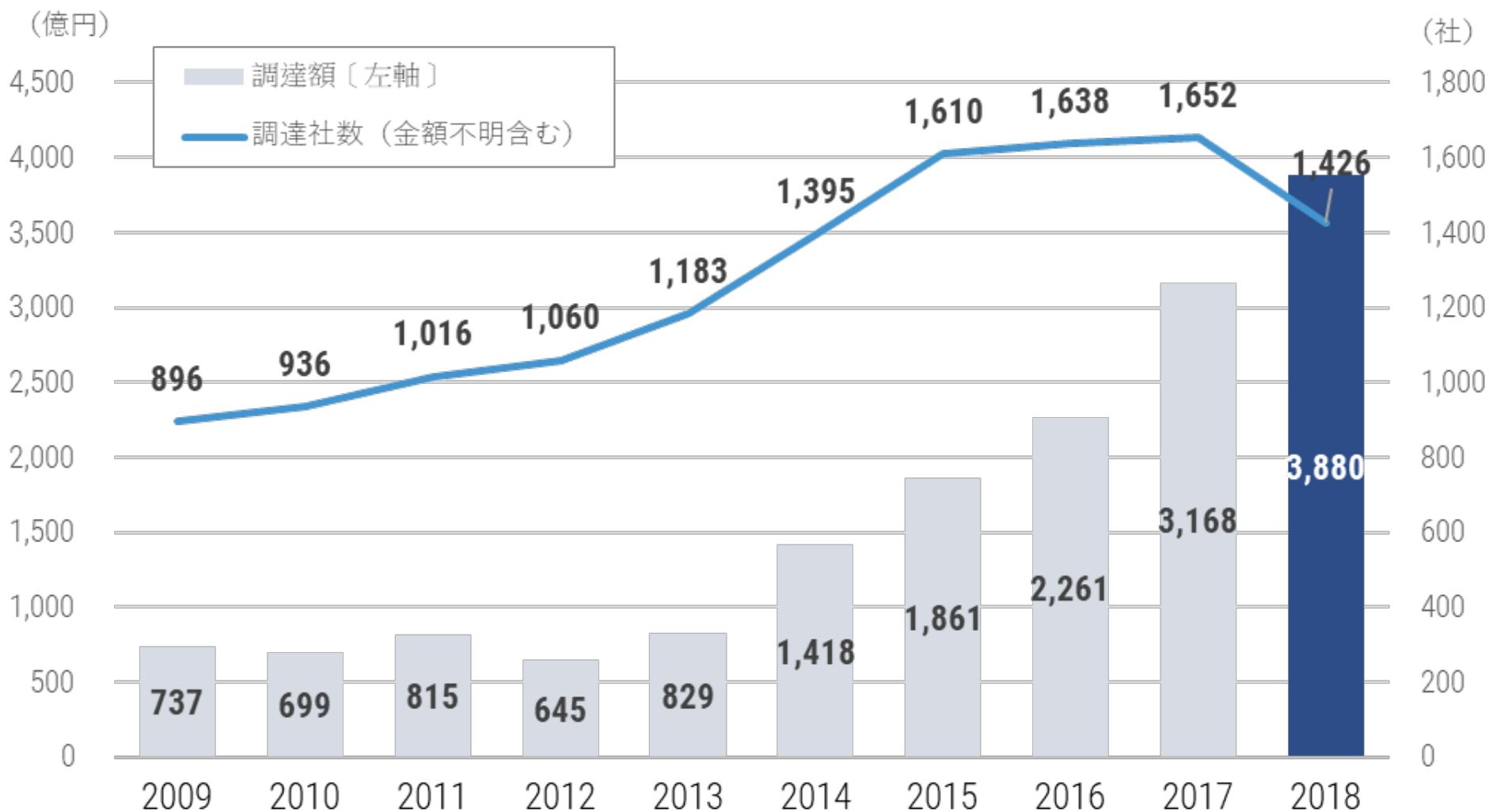
IPO(2017)
Media



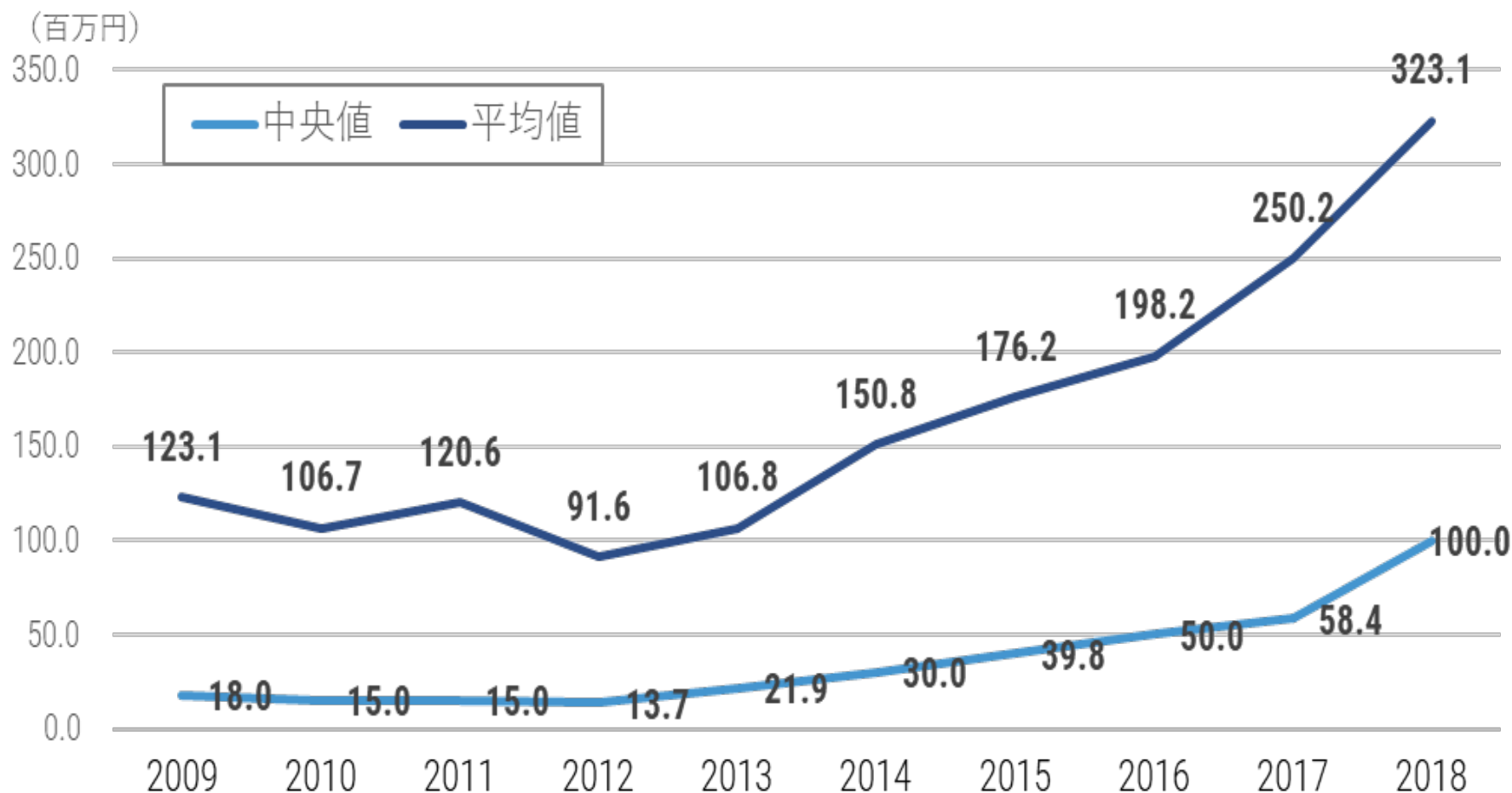
IPO(2019)
SaaS

日本のベンチャーエコシステムの 現状

我が国のスタートアップによる資金調達の総額は、2012年を底に順調に増加しており、2018年は年間3,880億円に至っている。



スタートアップ1社当たりの調達額も、1回の調達で平均3億円超、中央値1億円と、大型化が進んでいる。



2018年は、123億円を調達したJapan Taxiを筆頭に、30億円超を調達したスタートアップが19社に及び、大型資本投下を必要とするスタートアップは増加傾向にある。



Ready For The Ride?

[MaaS]
Japan Taxi
123億円



[Fintech]
FOLIO
70億円



[SaaS]
free
65億円



[Bio Chemical]
Spiber
62億円



[Fintech]
Finatext
60億円



[Fintech]
Paidy
59億円



WHILL
[Robotics/MaaS]
WHILL
58億円



[Fintech]
お金のデザイン
57億円



[Digital Health]
FiNC Technologies
57億円



[EC]
メルカリ
50億円



[AI/SaaS]
ABEJA
48億円



[AI/MaaS]
ティアフォー
33億円



[Fintech]
ウェルスナビ
33億円



[AI/Digital Health]
エルピクセル
32億円



[Bio Chemical]
TBM
31億円



[EnergyTech]
Loop
31億円



[Media]
エブリー
30億円



[SFA/CRM SaaS]
30億円



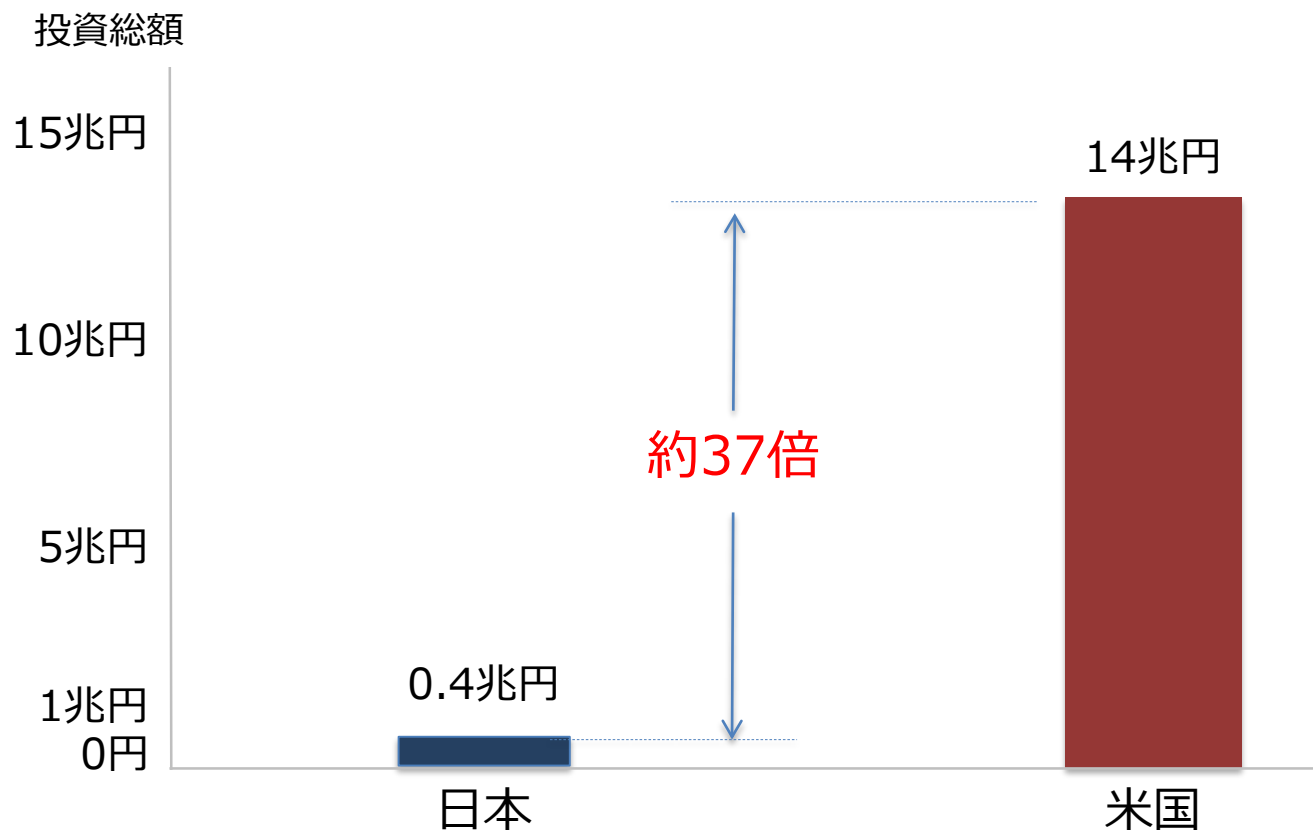
[Foodtech, SaaS]
トレタ
30億円



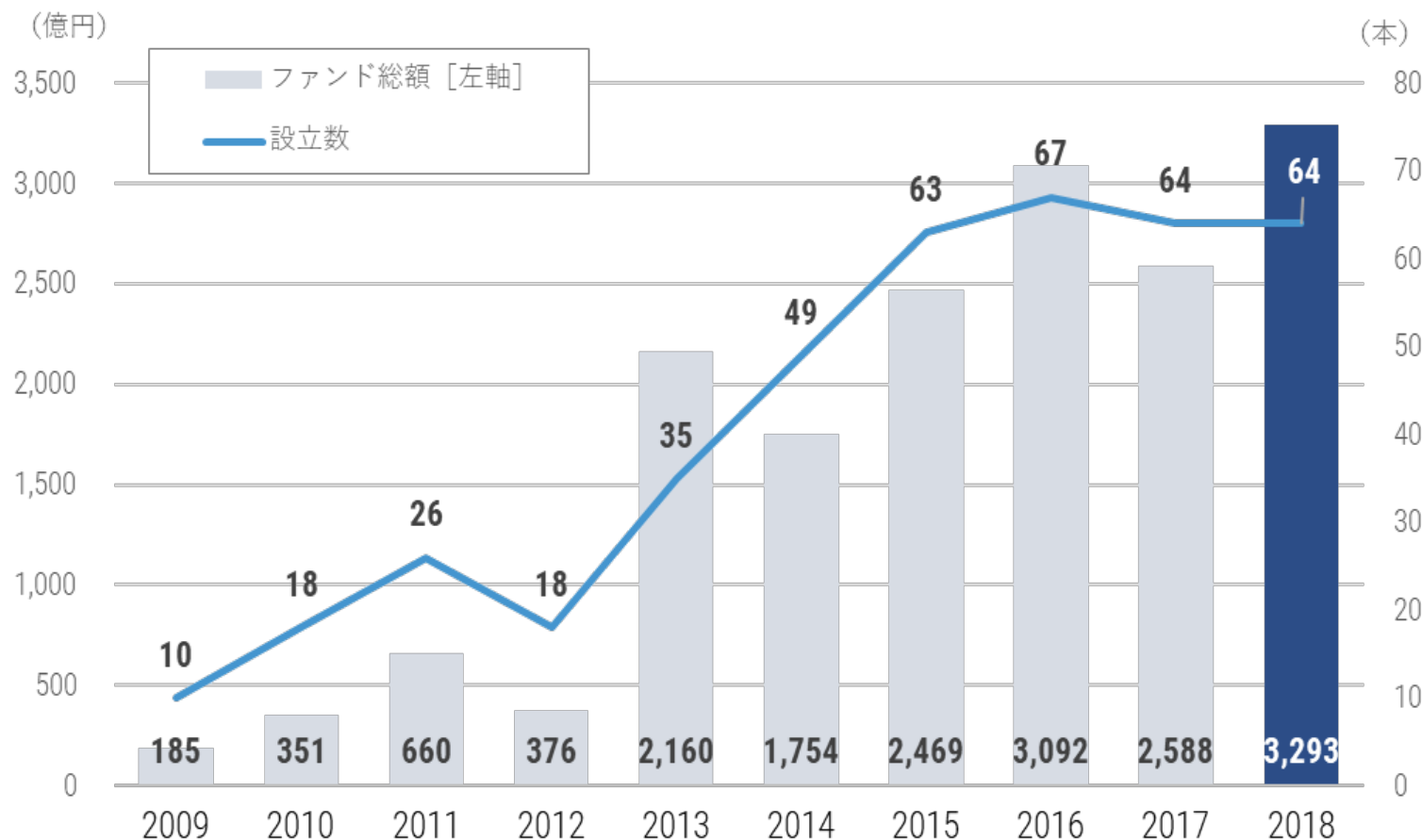
[AI/Security]
ココン
28億円

我が国のリスクマネーは、順調に増加しているが、スタートアップへの投資額を米国と比較すると、米国は日本の約37倍と差は歴然としている。

2018年スタートアップ投資額比較



資金の出し手であるVC側のファンド設立状況を見ると、2012年を底に、ファンド設立数・ファンド総額とも増加している。一方で1ファンドあたり平均50億円、中央値15億円程度と、スタートアップ1社に大規模な投資を実行するのは難しい状況。



(注1) ファンド数はファンド規模不明を含む

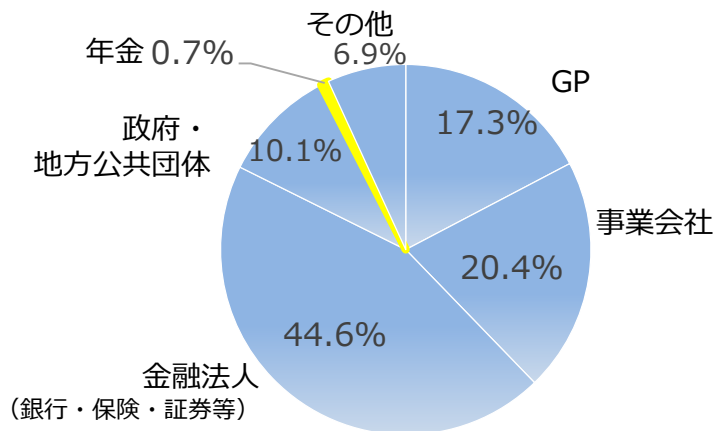
(注2) コンテンツファンドを含む

(注3) ファンド総額は当該年における出資約束金総額、一部推測値を含む

米国ではVCファンドへの出資は、機関投資家が出資者の過半を占め、リスクマネー供給の中心となっている。また、海外投資家からの資金も3割以上を占める。日本は機関投資家・海外投資家からの資金獲得が進んでいないためにファンドの大型化が進まず、官の資金の必要性は大きい。

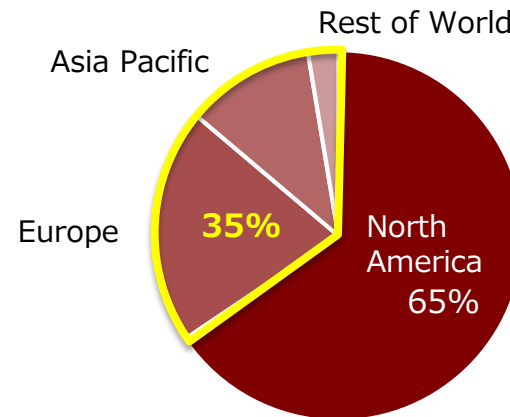
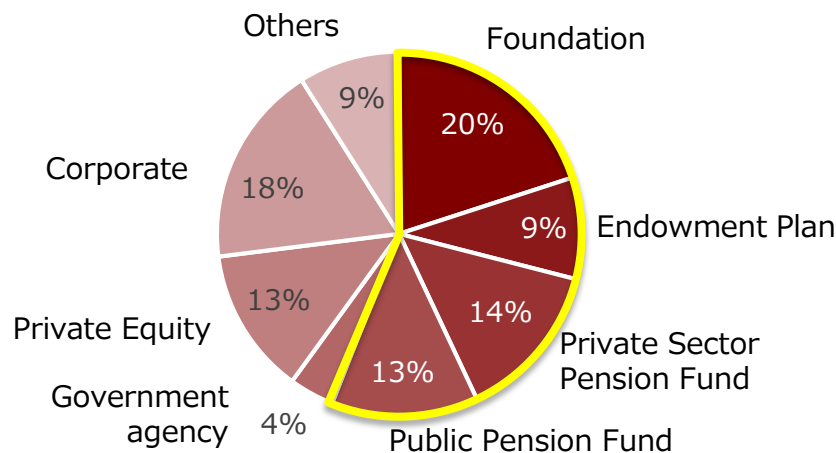
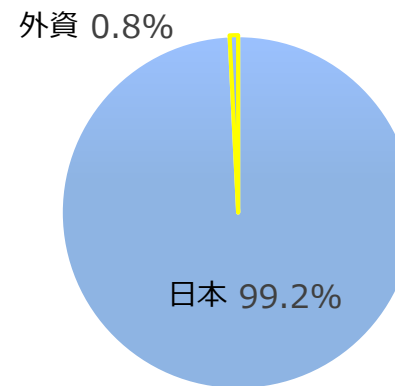
日米VCファンド出資者構成

日本



日米VCファンド出資者国内外構成

米国



Source : 日本:VEC (一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター) ベンチャー白書2018を元に、JVCAにて直近15年 (2004年-2018年) の平均値を算出しグラフ作成
 米国:Preqin Pro Copyright© Japan Venture Capital Association all rights reserved.

日本ベンチャーキャピタル協会の 活動について

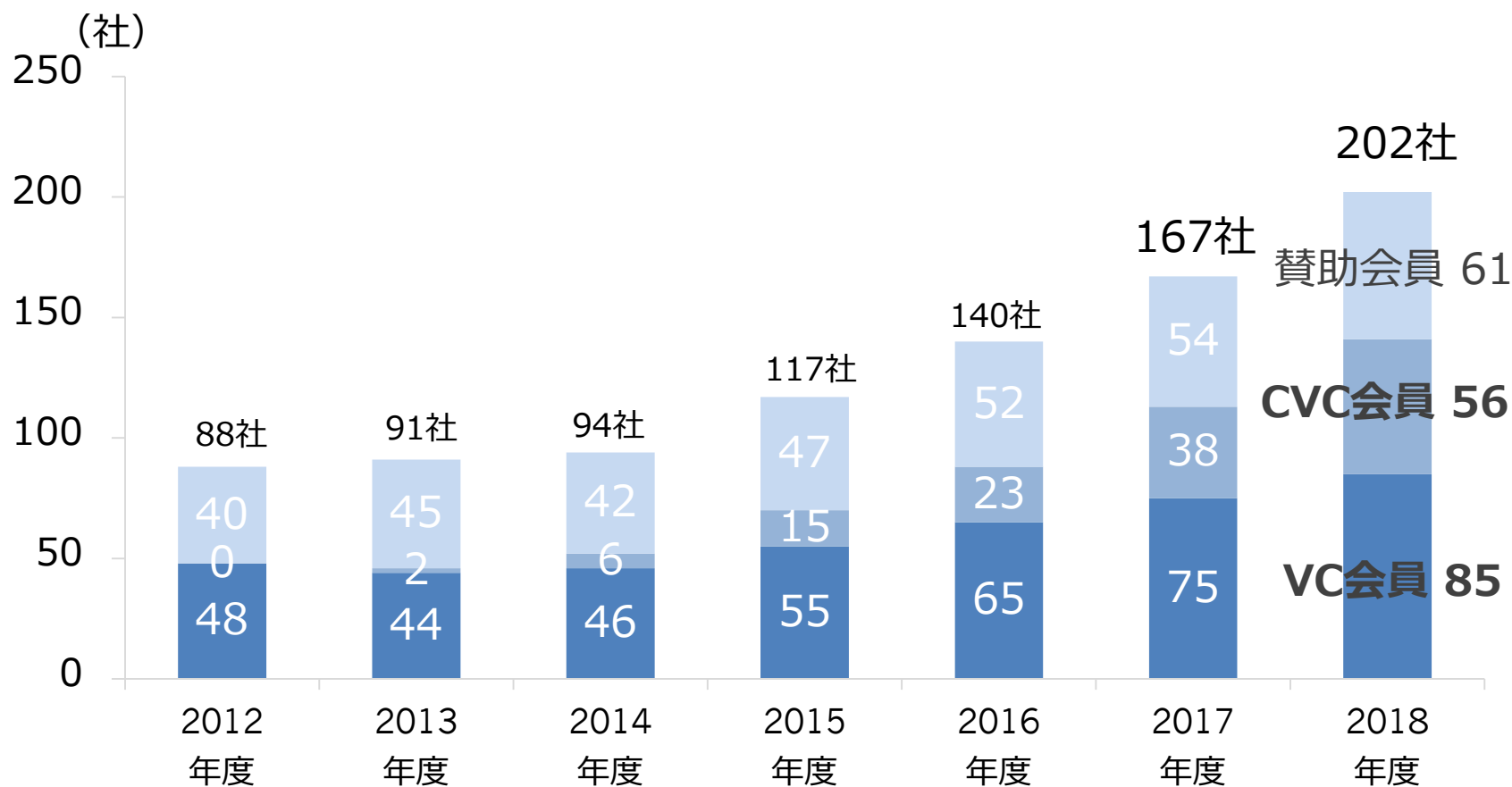
商号 : 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会
 英文名 : Japan Venture Capital Association
 会長 : 赤浦 徹・中野 慎三
 所在地 : 〒107-6003 東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル3階
 設立日 : 2002年11月28日
 決算月 : 4月

理事 : (2019年7月12日現在)

会長	赤浦 徹	インキュベイトファンド 代表パートナー
会長	中野 慎三	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長
専務理事	土田 誠行	株式会社INCJ 専務取締役・共同投資責任者 (Co-CIO)
専務理事	高野 真	D4V合同会社 ファウンダー兼CEO/リンクタイズ株式会社 代表取締役会長 兼 Forbes JAPAN編集長
常務理事	郷治 友孝	株式会社東京大学エッジキャピタル/株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 代表取締役社長
常務理事	渡辺 洋行	B Dash Ventures 株式会社 代表取締役社長
常務理事	坂本 信介	三菱UFJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	柳原 藤雄	大和企業投資株式会社 代表取締役社長
理事	伊佐山 元	株式会社WiL 代表取締役
理事	David Milstein	Eight Roads Ventures マネージング・パートナー 日本代表
理事	松本 季子	株式会社ジャフコ 執行役員
理事	田島 聡一	株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役
理事	内山 春彦	DBJキャピタル株式会社 代表取締役社長
理事	林 龍平	株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー
理事	山岸 広太郎	株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ 代表取締役社長
理事	片岡 正光	TBSイノベーション・パートナーズ合同会社 代表パートナー
理事	佐俣 アンリ	ANRI 代表パートナー
監事	轟 芳英	有限責任あずさ監査法人 企業成長支援本部 パートナー 公認会計士
監事	鈴木 真一郎	EY新日本有限責任監査法人 シニアパートナー 公認会計士
監事	滝野 恭司	有限責任監査法人トーマツ トータルサービス事業部 (TS事業部) パートナー 公認会計士
名誉会長	仮屋 蘭 聡一	株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー
特別顧問	呉 雅俊	株式会社TNPパートナーズ 代表取締役社長

近年会員加入が相次ぎ、VC/CVC会員は140社超へ

会員企業数は直近4年で約2倍に。近年は、CVC会員の増加が顕著。



この数年で、VC単独からオープンイノベーションのコミュニティに発展

- ・第四次産業革命の本格化による国内大企業およびグローバル企業のスタートアップエコシステムへの関心の高まり
- ・特に、スタートアップの評価および連携ノウハウ獲得への期待が大きい

従来
(金融機関係VC)

独立系VC・グローバルIT企業
(2015-16年頃)

イノベーションを志向する大企業
(2017-18年頃)

独立系・大学系VC

グローバルIT企業

三菱UFJキャピタル株式会社

大和企業投資
Daiwa Corporate Investment

DBJ
日本政策投資銀行グループ

池田泉州キャピタル

JAFCO

GB
Global Brain Corporation

SBI Investment

WiL
WORLD INNOVATION LAB

DOGAN

UTokyo IPC
Innovation Platform
for The University of Tokyo

OUVC
INITIATE INNOVATIONS

Microsoft

Google

aws

salesforce

MIZUHO

りそな銀行
RESONA

農林中央金庫
NORINCHUKIN

JP HOLDINGS 日本郵政

ヤマトホールディングス

JR東日本スタートアップ株式会社
JR East Start UP Co., Ltd.

SAP

JTB

TEPCO

SoftBank

Designing The Future
 KDDI

松竹

おもしくて、ためになる
 講談社

SONY

木と生きる幸福

住友林業

JT

ミッション：使命

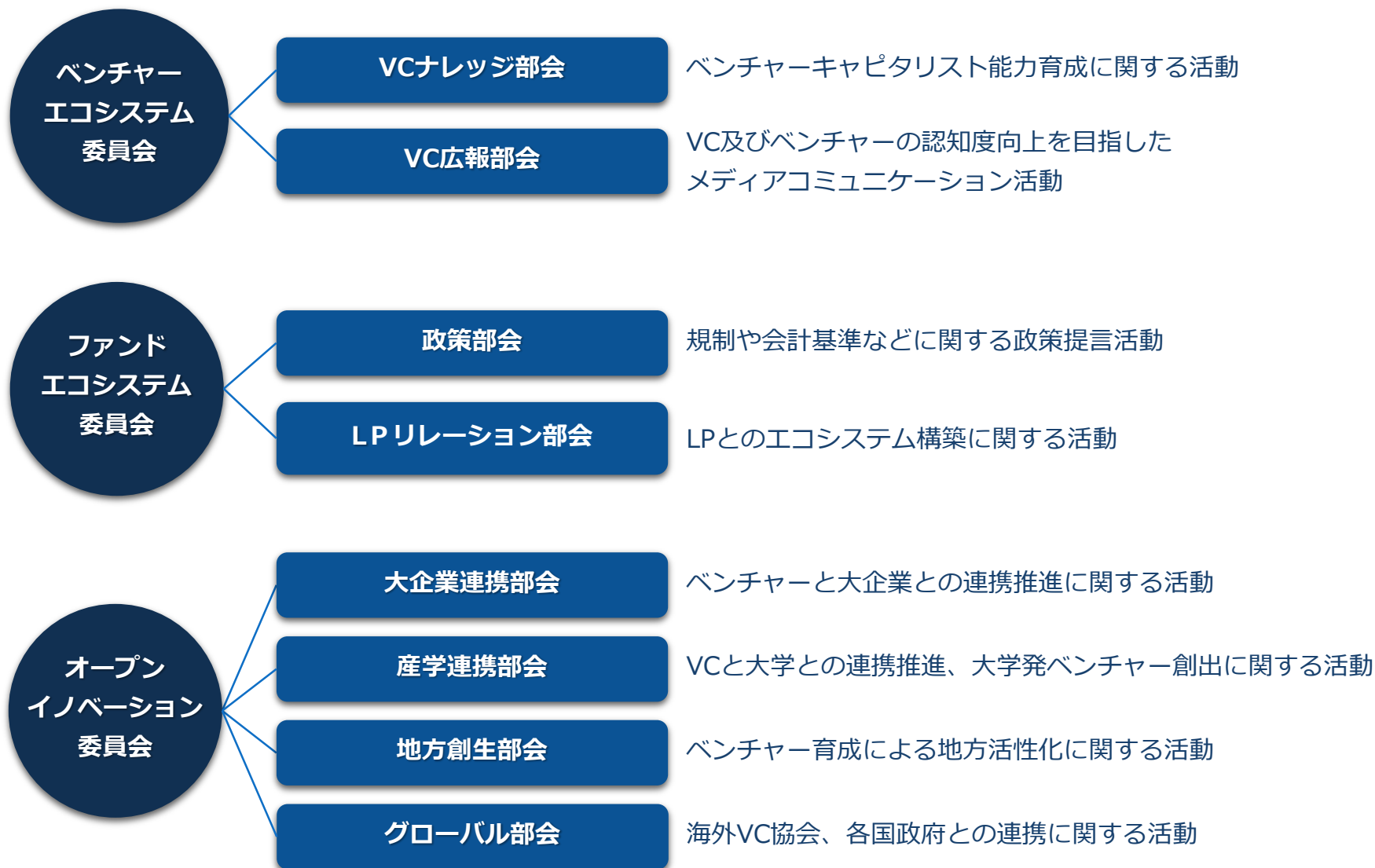
ベンチャーエコシステムの発展拡大による新産業創造を通じて、日本発世界経済の発展に寄与する

ビジョン：目的

1. ファンドレイズ
VC資金調達額の向上/GPファンドレイズ
活動支援
2. バリューアッド
投資・付加価値活動の質量向上
(キャピタリスト/起業家/テーマ)
3. オープンイノベーション
産学官・大企業が連携し、オープン
イノベーションによる新産業創造を支援する
4. 人材育成
ベンチャーキャピタリスト育成および
起業家・プロ経営者育成支援

バリュー：姿勢

1. 協会を「社会的存在」として、大規模な産業・
企業創造を目指し、政府・省庁と繋がり、
アドバイスを行う立場にする
2. 協会運営を「戦略」的に考え、ビジョン・
イシュー・マイルストーン等を導入し運営する
3. 協会を、会員成功のための「互助会」とする



ベンチャーキャピタリスト研修

- ベンチャーキャピタリスト育成を目的とする業界統一の研修を2004年から開始し、これまでに1200名を超える受講生を輩出
- 講師陣は第一線で活躍するキャピタリストが務め、ベンチャーキャピタリスト（投資担当者）に求められる知識・スキルを体系的に学習可能
- 2019年度は会員企業のVC・CVC・事業会社等から160名超が受講
- 受講約半年後に、過去の受講生も含めた同窓会「キャピタリスト研修リユニオン」を開催、2019年1月は“30代GPに聞く 自分の強みの作り方”と題してお二方の先輩GPによるパネルディスカッションも実施



メディアプレゼンテーション

- メディア関係者に向け、ベンチャーキャピタル業界およびスタートアップの最新動向をご紹介
- 2017年5月はフィンテック領域の“運用・融資・送金”について（株式会社FOLIO・Global Mobility Service株式会社・株式会社Kyash）、2018年2月はフロンティアテック（宇宙）領域（株式会社ispace・株式会社アクセルスペース・株式会社アストロスケール）、2018年7月はブロックチェーン業界（株式会社ALIS・株式会社Tokyo Otaku Mode）の各経営者にご登壇いただき、パネルディスカッションを実施
- 2019年1月は、年頭にあたり「2019年 スタートアップの動向を占う」（株式会社gumi 國光宏尚氏・UBS証券株式会社 武田純人氏）と、「SDGsベンチャー特集」（ライフイズテック株式会社 水野雄介氏・READYFOR株式会社 米良はるか氏）と題した2本のパネルディスカッションを実施
- 2019年6月は、有力機関投資家とGPによるパネルディスカッションを実施



経済産業省より「我が国におけるベンチャー・エコシステム形成に向けた基盤構築事業」の受託

- 経済産業省より上記事業に係る調査研究を4年連続で受託。経済産業省のWEBサイト上に掲載。

15年度：「VCファンドのパフォーマンス評価に係る調査報告書」

16年度：「国内VCファンドの時価評価に係る実務指針」

17年度：「投資事業有限責任組合契約（例）及びその解説」

：「我が国における健全なベンチャー投資に係る契約の主たる留意事項」

18年度：「我が国のコーポレートベンチャリング・ディベロップメントに関する調査研究
～CVC・スタートアップM&A活動実態調査ならびに国際比較～」

- 今後もVCアセットクラスの状態向上、業界内ナレッジ向上に向けた取組を行って参ります



ファンドマネジメント勉強会

- 2017年11月「VCファンドの公正価値評価実務に関する解説 & 交流会」
VC業界のファンド運営能力強化を目的としたコントローラー向けの勉強会・交流会をJVCAとして初めて開催
ファンド管理業務を遂行する担当者約40名が参加
- 2018年2月 日本投資顧問業協会主催“FMアナリスト研修”にてファンドエコシステム委員会 村田委員長が
登壇し、80名近い日本投資顧問業協会の会員向けに講師として登壇
- 2018年10月「ファンドマネジメント勉強会」
経済産業省より2018年4月に公開された「投資事業有限責任組合契約（例）及びその解説」について勉強会を開催



CVC/オープンイノベーションフォーラム & フォローアップセミナー

- 2019年4月は新規ご入会のCVC会員同士の交流会「CVC新規会員懇談会」を開催
- JVCAでは大企業とベンチャー企業/VCとの連携を促進する目的のもと、フォーラムを毎年開催
第8回目のCVC/オープンイノベーションフォーラムは 2019年10月に「経営からみたCVC、海外からみたCVC」と題し、企業経営からみたCVCの在り方や、コーポレート・ベンチャリングに取り組んでいる事業会社、CVC各社のベストプラクティスをご紹介するセッションを実施。加えて、本年は海外CVC担当者を多数お招きし、グローバル・ベストプラクティスとトレンドやグローバルCVCの事例などについてのセッションを実施。
総勢160名を超える参加者にお集まりいただき、カンファレンス後の懇親会も大変盛況のうちに閉会
- 2019年2月にはフォーラムのフォローアップイベントとして、CVC会員限定のラウンドテーブルを開催
本年度も2020年年初に開催の予定



大学発ベンチャー創出シンポジウム

■ JVCAと文部科学省との共催シンポジウム

前年に続き2019年1月に東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールにて開催

■ 大学関係者とVC/CVCが集う貴重な機会として、300名を超える申込があり、大学教員、産学連携ご担当者、VC/CVC、自治体、省庁・国立機関、企業が参加

■ 大学発ベンチャー起業家(Spiber株式会社、クリングルファーマ株式会社、株式会社自立制御システム研究所、株式会社Finatext)および、地方大学にてエコシステム作りに尽力されている教授の方々によるパネルディスカッションならびにVC/CVCピッチが行われた



地方創生VCトップ懇談会

- 各地域で活躍されているVC各社のトップ及び、業界関係者に年に1度東京以外にお集まり頂き、地方のスタートアップエコシステムについてのベストプラクティス共有や意見交換を実施
- 第1回地方創生VCトップ懇談会は2015年5月に福岡にて開催、第2回は同年10月に広島、第3回は2016年10月仙台、第4回は2017年10月熊本、第5回は2018年10月愛媛松山にて実施
- 2019年10月は「第6回地方創生VCトップ懇談会(浜松)」と題し静岡県浜松市にて、地元起業家、自治体、経済団体、金融機関、東京から経済産業省、金融庁、東京証券取引所、中小企業基盤整備機構等が参加、「浜松のベンチャーエコシステムの展望と課題」「地方におけるテック系ベンチャーの育て方」の2セッションを実施



「Global Venture Capital Congress」 (GVCC) 「Asia VC&PE Council」 (AVCPEC)等 各種海外カンファレンスへの出席

GVCC ～Global Venture Capital Congress～

- 米国Terry McGuire氏が主催。世界のVC/PE協会が集まり、各国のロビー活動、規制問題、ファンド投資家と運営者間のコミュニケーション、各種データ整備、クロスボーダーディールの創出等について課題共有、討議を実施
- 2016年9月カナダ バンクーバー開催、2018年4月オーストラリア シドニー開催に、JVCAからも出席
- GVCC (ベンチャーキャピタル協会長の世界会議) の2020年日本招聘が決定



AVCPEC ～Asia VC&PE Council～

- アジアにおける起業促進のための環境整備、そしてVC/PE業界の発展に向けた協力を主旨に掲げ発足
- アジア各国のVC /PE協会が集まり、各国におけるVC/PEマーケット動向や課題などを共有



VC産業が我が国の新産業創出の牽引者となるべく更なる向上を目指す

1.VC×機関投資家

年間1,000億円の機関投資家マネー流入にむけ、ディスクロージャースタンダード等を確立する

2.大企業×スタートアップ

持続的なリスクマネー増加トレンドの形成と、大企業によるM&Aを促進し、エコシステムのより一層の成長を目指す

3.新産業×政策提言

次世代を代表するメガベンチャー創出を目指して、官民一体となった産業政策を構築するためにVC業界のプレゼンスを高める

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会

〒107-6003

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル3階

■ TEL : 03-5114-6667 ■ FAX : 03-5114-6668

■ E-mail : jimukyoku@jvca.jp

■ URL : <http://www.jvca.jp>

